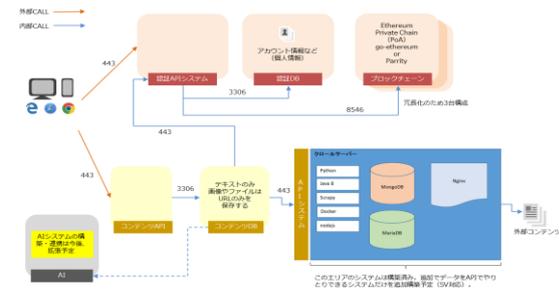


提案団体名：株式会社スマートバリュー

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

| 技術の概要・実績等 | 技術の分野 |
|---|-------|
| <p>利用者情報を一元管理し、地域内の各種サービス(アプリケーション)とワンストップで接続するための認証基盤の提案が可能です。 利用者情報のセキュリティ維持や本人確認の担保のため、ブロックチェーン技術によるスマートコントラクトを活用しております。 利用者は市内在住者だけではなく、遠方に住むその地域にゆかりのある方、観光に訪れた方などを想定しています。 ロケーションに関わらず認証基盤上に”仮想住民”として登録することで、スマートフォンアプリなどを介して行政サービス(手続きや申請)や、地域サービス(カーシェアや域内通貨)を提供するだけでなく、域外からもその地域に関わることができる窓口(寄付や電子投票など)として、各種サービスと連携して地域ごとの課題解決を図ります。 下記に、某自治体様と連携をし公開予定の構成イメージを記載します。</p>  | (4) |

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
 ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

| 解決する課題のイメージ | 課題の分類 |
|---|---------------------------------|
| <p>行政の電子化を通じた利便性の向上やコストの抑制、民間事業者も加わることによる経済・産業の創出、センシングによる人流やファシリティマネジメントによるインフラの維持において役立つプラットフォームとなります。 生体認証、公的認証サービスなどとの連携によりさらに高度な認証機能を実装でき、申請や手続きなどにも利用することができます。 また、デバイスや車両、ファシリティのデータを取得することによる解析にもつなげる想定です。 サービス、事業者が連携し、地域の課題を解決します。 下記に、プラットフォームの活用イメージを記載します。</p>  | (ア) (ウ) (エ) (オ) (カ) |

(3) その他

当該プラットフォームは現在構築中となります。
 今春に第一弾ローンチを予定しております。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

| 部局名 | 担当者 | 連絡先(電話) | 連絡先(メール) |
|----------------------------|--------|--------------|--|
| クラウドソリューションセグメント 管掌役員補佐 | 岩本 健太郎 | 06-6448-1711 | kentaro.iwamoto@g.smartvalue.ad.jp |